

IBM Open Technology Summit 2020

日時 2020年2月13日(木) 10:00~17:45

会場 グランド ハイアット 東京

講演資料のダウンロードはこちら

本日の講演資料は、以下サイトにてダウンロード可能です。
一部、非公開の資料もございますので、予めご了承ください。



ibm.biz/IOTS_0213

なお、お手元のアンケートで「e-メールを希望する」および「電話を希望する」にチェックを入れていただいた方には、本日の講演動画、関連情報を含め、今後有益な情報をお送りいたします。

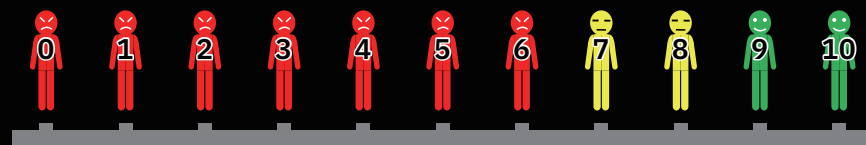
IBM イベント満足度調査へのご協力をお願い

IBMでは、イベント当日の会場アンケートの他に、お客様満足度調査を世界共通の設問で実施しております。後日(一週間後を予定)メールでご案内いたしますので、ご協力をお願いいたします。

件名:【IBM】ご参加いただきました IBM Open Technology Summit 2020に関する満足度調査のお願い

設問:「ご参加されたイベントを同僚やビジネスパートナーの方に勧める可能性はどのくらいございますか?」

以下の評価基準を参考にご回答をお願いいたします
(推奨する対象の方がいない場合も、いるという想定でご回答をお願いします)。



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10


ネガティブな回答の方 (参加を推奨しない) 中立回答の方 (どちらでもない) 推奨回答の方 (参加を推奨する)

【プログラム】


Keynote 【基調講演会場】

10:00 ~ 11:45


量子コンピューターの実用化、オープンなハイブリッド・マルチクラウド思考 ～未来のコンピューティングを実現するテクノロジーとアーキテクチャー～ K-1




日本アイ・ビー・エム株式会社
代表取締役社長
山口 明夫



レッドハット株式会社
代表取締役社長
望月 弘一 氏



日本アイ・ビー・エム株式会社
執行役員研究開発担当
森本 典繁



日本アイ・ビー・エム株式会社
IBM Services CTO 兼
IBM オープン・クラウドセンター長
二上 哲也

| | 第1会場 | 第2会場 | 第3会場 |
|---------------|---|---|--|
| 13:00 ~ 13:45 | <p>量子コンピューターでビジネスはどう変わる? C-1</p> <p>～IBM Q Hub@Keioで進む、実用へ向けた研究最新情報～</p> <p>慶應義塾大学 量子コンピューティングセンター 特任准教授 鈴木 洋一 氏 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ 事務・システム企画部 IT戦略Gr 調査役 田中 智樹 氏 みずほ情報総研株式会社 サイエンスソリューション部 チーフコンサルタント 宇野 隼平 氏 IBM東京基礎研究所 Q & AI Acceleration Center 部長 IBM Q Hub at Keio University - IBMリード 渡辺 日出雄</p> | <p>デジタル変革 (DX) の成功企業から学ぶ、AI活用の3つのポイント B-1</p> <p>日本アイ・ビー・エム株式会社 常務執行役員 クラウド&コグニティブ・ソフトウェア事業本部長 伊藤 昇 日本アイ・ビー・エム株式会社 技術理事 IBM Services Analytics CTO 山田 敦</p> | <p>ハイブリッド・マルチクラウド時代のIT戦略とロードマップ A-1</p> <p>～実例から学ぶ、IT投資の最適化をめざすアプローチ～</p> <p>日本アイ・ビー・エム株式会社 IBM Services テクノロジー・コンサルティング事業部 ITコンサルタント部長 三輪 直人</p> |
| 14:00 ~ 14:45 | <p>なぜ20%のワークロードしかクラウド化されていないのか? A-2</p> <p>～もっともオープンかつセキュアなビジネス向けのパブリッククラウド～</p> <p>日本アイ・ビー・エム株式会社 IBM Cloud Platform事業部長 理事 田口 光一</p> | <p>IAなくしてAIなし B-2</p> <p>～AIの活用を成功に導くための情報アーキテクチャー～</p> <p>日本アイ・ビー・エム株式会社 クラウド&コグニティブ・ソフトウェア事業本部 Data and AIテクニカルセールス部長 田中 孝</p> | <p>ハイブリッド・クラウドにわたるデータを完全保護 C-2</p> <p>～クラウド時代の最先端セキュリティ～</p> <p>日本アイ・ビー・エム株式会社 システム事業本部 技術理事 川口 一政</p> |

Coffee Break 3Fホワイエにてコーヒーおよびリフレッシュメントを提供いたします。

| | | | |
|---------------|--|--|--|
| 15:00 ~ 15:45 | <p>DX実現の肝となるモダナイゼーションに待った無し! A-3</p> <p>～1から学ぶ適用パターンと実践例～</p> <p>日本アイ・ビー・エム株式会社 IBM Services クラウド・アプリケーション・サービス アソシエイト・パートナー 渡海 浩一 日本アイ・ビー・エム株式会社 IBM Cloud Integration 事業部 テクニカルセールス部長 上野 亜紀子</p> | <p>AIにスピードと簡単さを実現するITテクノロジーの未来 C-3</p> <p>～ナスカの地上絵から明太子まで～</p> <p>日本アイ・ビー・エム株式会社 システム事業本部 AI推進部 部長 間々田 隆介 日本アイ・ビー・エム株式会社 ディープラーニング・システムズ・コンピテンシー・センター シニアITスペシャリスト 山上 円佳</p> | <p>世界初!地球の隅々までの超高解像度気象データを活用したビジネス変革の実例 B-3</p> <p>日本アイ・ビー・エム株式会社 クラウド&コグニティブ・ソフトウェア事業本部 Watson Media and Weather事業部 武田 一也 日本アイ・ビー・エム株式会社 IBM Services Cognitive Process Transformation, Cognitive & Analytics パートナー 渡辺 圭吾</p> |
| 16:00 ~ 16:45 | <p>拡張性のある金融決済変革を実現するデジタル戦略 A-4</p> <p>～オープンテクノロジーを活用した開発の手法、基盤、事例の紹介～</p> <p>イオンクレジットサービス株式会社 執行役員 システム開発統括部長 光石 博文 氏 日本アイ・ビー・エム株式会社 クラウド&コグニティブ・ソフトウェア事業本部 クラウド・プラットフォーム・テクニカル・セールス 古川 正宏</p> | <p>本番志向!! 業界特化型 IBM IoT ソリューション B-4</p> <p>日本アイ・ビー・エム株式会社 Watson IoT事業部 リード・ソリューション・アーキテクト 磯部 博史</p> | <p>データを貯め、守り、価値を創出する C-4</p> <p>～お客様とのプロジェクトからの学び～</p> <p>日本アイ・ビー・エム株式会社 システム事業本部 ソリューション事業部 事業部長 理事 大久保 そのみ</p> |

| | | | |
|---------------|--|---|---|
| 17:00 ~ 17:45 | <p>【リレー講演】 A-5</p> <p>マルチクラウドの課題と解決策 IDC Japan 株式会社 ITサービス リサーチディレクター 松本 聡 氏</p> <p>「ハイブリッド・クラウド基盤構築“Before/After”」プロジェクト現場からの気づき</p> <p>日本アイ・ビー・エム株式会社 IBM Services クラウドアドバイザ&デザイン事業部長 澤藤 佳実 日本アイ・ビー・エム株式会社 IBM Services インフラストラクチャー・サービス デリバリー チーフ・アーキテクト 齊木 春慶</p> | <p>IBM Blockchainで本格展開が進む産業横断型ビジネス・ネットワーク B-5</p> <p>日本アイ・ビー・エム株式会社 ブロックチェーン事業部 事業部長 高田 充康</p> | <p>コンテナ・コンピューティングの波 C-5</p> <p>～コンテナ化とOpenShift採用の先にある明るい将来～</p> <p>日本サード・パーティ株式会社 取締役 デジタルトランスフォーメーション事業本部長 為田 光昭 氏 日本アイ・ビー・エム株式会社 クラウド&コグニティブ・ソフトウェア事業本部 テクニカルセールス&エバンジェリスト担当部長 高良 真穂</p> |
|---------------|--|---|---|



【会場案内図 3F】

【お知らせ】

- 撮影禁止マークのセッションは、撮影およびSNS等への投稿はご遠慮ください。
- 主催者の許可なく、講演内容を録音、録画することはご遠慮ください。
- スマートフォンなどの電子機器はマナーモードに設定してください。
- お荷物のお預けは、クロークをご利用ください。

アンケートご協力をお願い

ご記入いただきましたアンケートは、お帰りの際に受付にご提出ください。

※ 講師、テーマなどは事前の予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。